

ROU KEN



ゼラニウム Geranium

一般にゼラニウムと呼ばれているものは、南アフリカ原産のモンテンジクアオイなどから作られた園芸品種のことで、18世紀初めに英国で品種改良をされたのが最初といわれています。その後欧州で、多くの品種が作られてきました。

葉に独特の香りがあり、もともとは虫が室内に入るのを防ぐためであったといわれていますが、いまでは欧州の代表的な街並みの風景となっています。

日本へは江戸時代の終わり頃に渡来。赤色・ピンク色・オレンジ・サーモンピンク・白色、中心が白いものなど花色が豊富です。



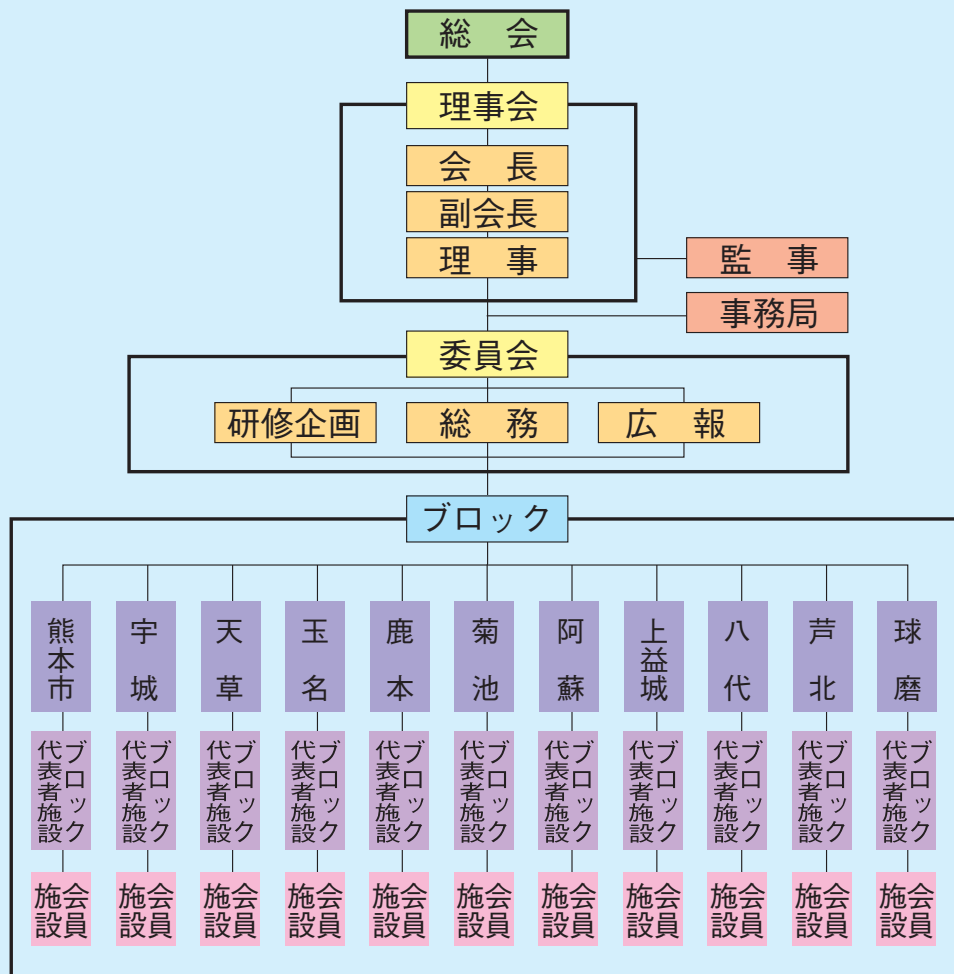
花言葉は「真の友情」「尊敬と信頼」「愛情」など。

開花時期4月～11月（高温多湿を嫌うので、日本では春と秋に咲きやすい。）

一般社団法人 熊本県老人保健施設協会

一般社団法人 熊本県老人保健施設協会
〒868-0041 熊本県人吉市七地町 495 介護老人保健施設リバーサイド御薬園内
TEL 0966-26-3681 FAX 0966-26-3680

一般社団法人熊本県老人保健施設協会組織図



- 総会 年1回、6月に開催する。
- 理事会 通常理事会（年2回の開催、6月、3月）
臨時理事会（必要に応じて開催する。）
- 委員会 ●総務委員会 理事会の指示のもとに会務全般の庶務を行う。具体的には事業計画の立案、実施状況の把握、老健運営上の課題の整理、県担当部局との調整など。
●研修企画委員会 年間を通しての研修の企画、講師の選定、研修の運営、研修の評価等。
●広報委員会 広報誌の発行、ホームページの作成、会員への情報伝達方法の検討。
- 各ブロック 地域振興局単位で意見の集約を図り、老人保健施設の立場から地域の活動に協力していくために、熊本市及び地域振興局単位でブロックを編成する。
施設間、職種間での意見の交換を行い、課題の整理と活動を行うこととする。

目

次

一般社団法人熊本県老人保健施設協会組織図・目次	2
最近の介護・医療人材について 理事 緒方俊一郎	3
平成27年度新人職員研修会 開催報告	4
平成27年度新人職員研修会 参加者アンケート	5
介護老人保健施設桔梗苑の事務業務について	6
平成27年4月～6月までの各ブロック職種別活動の報告	7
熊本県老人保健施設協会会員施設	8・9
施設紹介	10～12
研修報告	
熊本県老人保健施設協会「中堅・主任者職員研修会」開催	13～15
編集後記	16

最近の介護・医療人材について

一般社団法人熊本県老人保健施設協会

理事 緒方 俊一郎



介護保険がスタートして15年になります。少子高齢社会の真只中で2025年問題が大きく取り上げられています。地方創生会議が東京圏を始め大都市以外はいずれ消滅のおそれがあると発表して衝撃を起しましたが計算どおりに地方に人がいなくなるでしょうか。また、同じ会議から大都市圏から高齢者を地方に移住させるという提言がなされています。熊本はいくつかの都市もその有力な移住先とされています。高齢者だけを地方に移住させて、若者は都市に残すことに懸念が出されています。高齢者が住み慣れた場所を離れて

移住することは容易ではありません。一方、近年大都市圏のみならず、地方でも医療・介護に従事する若い職員の確保が困難で大きな問題となっています。不足している介護職員の確保のために、様々な方策が検討されていますが決める手はないようです。2025年に介護職員は全国で38万人不足し、熊本でも1、534人不足すると試算されています。

そのため安易に外国人を採用しようという動きもあります。すでにEPAで東南アジアから介護や看護職を導入する試みもなされました。自国の看護師資格で入国しても日本では改めて介護福祉士の資格を取り直す必要があり、介護福祉士の資格を取ってもほとんど

どが帰国してしまったと聞いています。せっかく養成した介護福祉士が、日本で働かないのではこの制度の意味がありません。また、外国人を短期間の安価な労働力としか見ないやり方ではいけません。

最近では、介護人材不足を補い介護職員の健康を守り、高齢者等の事故防止のために介護ロボットの研究が進められています。経済産業省や民間で介護はもちろん、会話の相手や、レクリエーションの司会をする人型ロボットなどまで製作され、改良・進化し続けています。ロボットを補助手段として使うのはやむをえないことでしょ

うが、介護は基本的には人が行うべきことです。介護を取り巻く環境は著しく変化しつつありますが、地域の活性

化を図るためにも現在地域にある施設等の有効活用を図るべきです。地域で医療・介護を続けるために医師会立の准看護学校の存続を熱望します。

地域包括・ケアが提唱されて久しくなりますが、そこに住んでいる方々の生活を支え、その地域で安心してその人が尊厳ある人生を送ることができるよう手伝うことです。

提案されている高齢者の大都市から地方への移住は本人たちの意思を尊重しながら行わなければなりませんし、ロボットを使った介護にしても上記の目的達成のために取り組まねばならないと思います。外国人職員に協力を求める場合にもその人達の意思を尊重し、単に労働力だけを利用するという視点ではないと思います。

老人保健施設が在宅復帰を図り、地域包括ケアの実現を全うするには多くの課題がありますが、何よりも利用者の意思を尊重し、利用者とともに地域づくりをすることでしょう。

平成27年度新人職員研修会 開催報告

例年行っております新人職員研修会を今年度も下記の通り開催しました。

第1回

平成27年6月10日（水）メルパルク熊本 2階白川

参加者数 65施設 142名

内 容

- I. 介護老人保健施設の理念と役割（新しい仲間を知ってほしいこと）
講師：熊本県老人保健施設協会 会長 山田 和彦 氏
- II. プロフェッショナルの流儀
講師：白藤苑通所リハビリテーション センター長 石本 淳也 氏
- III. 認知症高齢者の理解とケア
講師：介護老人保健施設 フォレスト熊本 介護主任 高木 啓司 氏
- IV. リスクマネジメントについて～老健における基礎知識～
講師：介護老人保健施設 おとなの学校本校 介護部責任者 種子永 聡 氏
- V. 老健における多職種協働について
講師：介護老人保健施設 サンライズヒル 社会福祉室課長 山口 将史 氏
- VI. グループワーク

第2回

平成27年6月22日（月）メルパルク熊本 3階根子岳

参加者数 54施設 111名

内 容

- I. 介護老人保健施設の理念と役割（新しい仲間を知ってほしいこと）
講師：熊本県老人保健施設協会 会長 山田 和彦 氏
- II. 認知症高齢者の理解とケア
講師：介護老人保健施設 フォレスト熊本 介護主任 高木 啓司 氏
- III. プロフェッショナルの流儀～介護業界基本編～
講師：白藤苑通所リハビリセンター センター長 石本 淳也 氏
- IV. リスクマネジメントについて～老健における基礎知識～
講師：介護老人保健施設 阿房宮 介護職リーダー 佐伯 耕一 氏
- V. 老健における多職種協働について
講師：介護老人保健施設 あさひコート 相談室室長 中嶋 健一 氏
- VI. グループワーク

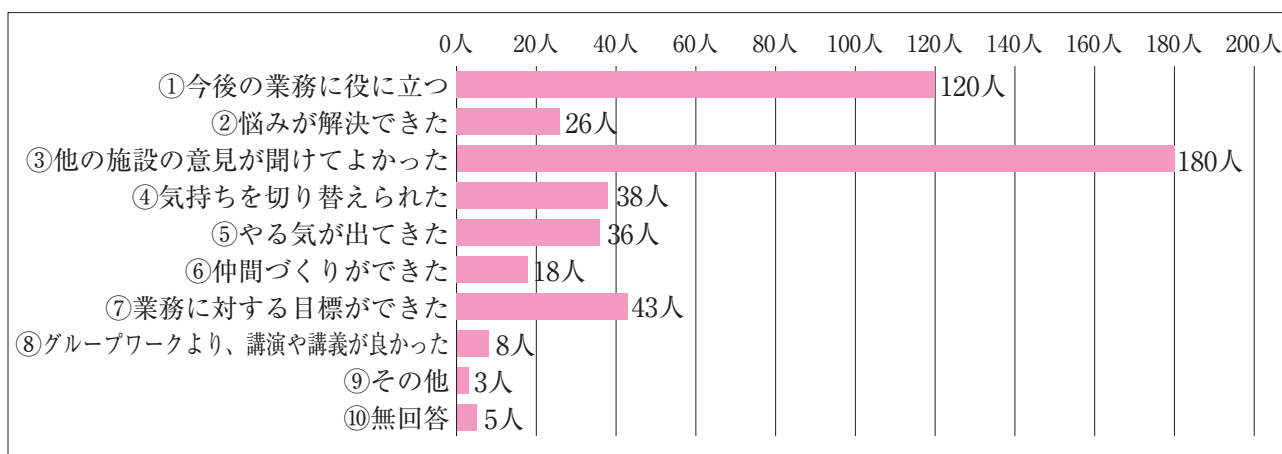
平成27年度新人職員研修会 参加者アンケート

第1回、第2回の参加者数253名 うち246名回答

1. 参加者の所属・職種

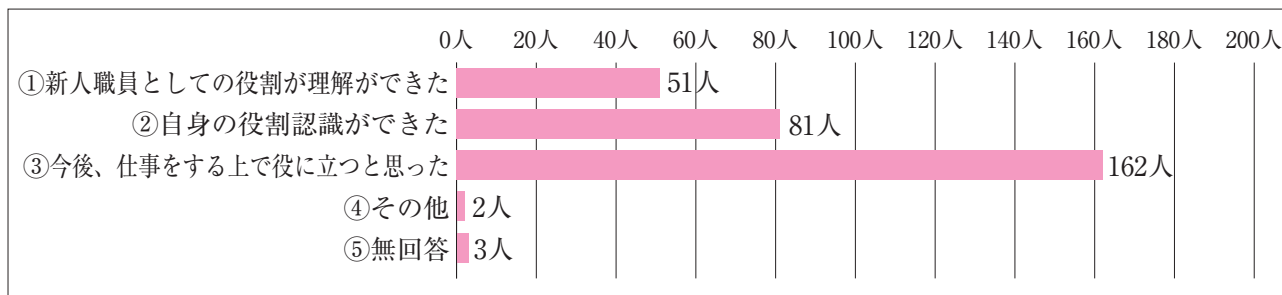
	介護職	看護職	PT・OT・ST	支援 相談員	(管理) 栄養士	ケアマネ	事務	その他	無回答
入所	128人	18人	5人	4人	0人	2人	0人	1人	1人
通所	39人	2人	5人	0人	0人	0人	1人	1人	0人
その他	5人	1人	13人	1人	3人	0人	4人	3人	0人
無回答	7人	0人	0人	0人	1人	1人	0人	0人	0人

2. グループワークについて



- その他
- ・グループワークも講演も講義も良かった
 - ・地域は違えど、悩みは一緒だと思った
 - ・他事業所の人と話す機会ができ良かった
 - ・同じ悩みを持つ方に会えてよかった。グループワーク良かったです。
 - ・他事業の人と話す機会ができ良かった。

3. 研修を受講して



- その他
- ・認知症の書類等、再度違いがわかり役だった
 - ・「プロフェッショナルの流儀」の講義でたくさんの事を学んだ
 - ・同業者と同じ悩みを聞けて良かったです。看護と介護、どちらもなので区分があれば体力的にいいと思いました。

ご参加いただきました皆様、ありがとうございました。

介護老人保健施設桔梗苑の事務業務について

桔梗苑 事務職 瀧 本 昌 久

まず、桔梗苑の概要について紹介させていただきます。

当苑は、平成元年5月15日に熊本市南区城南町に設立された独立型の施設です。入所定員は入所と短期入所を合わせて90名、通所リハビリ定員が1日24名となっています。職員については、現在68名の人員数で事務職員数は4名で業務を行っています。

事務の業務については、各施設等で細かな点は違うと思いますが、桔梗苑の事務部門として行っている業務内容について2つに分けて紹介して行きたいと思います。

*最初の1つは総務業務についてです。これは、経理業務を除いた施設全般に関する業務です。施設は目的を持って設立されています。その目的を達成するためには、施設の機能が効率よく働く仕組みが必要となります。その仕組みを維持管理していくために必要な業務と言えます。その中での主な業務内容を挙げてみます。

- 施設運営に関する管理業務
- 職員に関する勤務時間の管理業務
- 職員に関する社会保険や雇用保険及び福利厚生申請手続き等
- 着信・発送文書等の管理
- 行政機関等への提出書類作成、対外的交渉等の窓口
- 利用者預かり金の管理等
- 設備・用度品等の購入や管理等
- 来苑者の受付や電話対応等の接客業務

*次の1つは経理業務についてです。

施設を運営するにあたっては、家庭の場合と同じですが、収入と支出の管理が大切です。介護保険施設の収入は、介護保険制度の中での介護給付費が主な収入となります。桔梗苑での保険請求作業では、事務部が他の部署に請求項目の確認を依頼して、最終的にまとめて保険請求を行っています。他には、ご利用者様への利用料の請求・領収作業があり、それらの作業をすることにより収入の管理を行っています。支出についてはいろいろありますが、職員に関する給与や経費等・購入物や設備点検清掃及び補修等に伴う経費・各種保険料やリース料等の経費の管理が挙げられます。施設に関係する全ての収支管理をすることによって、施設の運営状況の判断が行われています。

この他、他職種と協働して配膳・下膳のお手伝いや通所リハビリの送迎や運転及び環境整備の一環として花壇整備等も行っています。配膳のお手伝い、送迎や運転をすることで、ご利用者様との交流を深めたり、花壇整備等で来苑されたご家族との話題提供になったりして、違った効用も見られるようです。以上、桔梗苑の事務業務について簡単ですがご紹介させていただきます。



設立当初からの売店です。



事務部で育てたグリーンカーテンが今年も立派に育ちました。

平成27年4月～6月までの各ブロック職種別活動の報告

※平成27年7月までに届いた報告書です。4月～6月までに活動されていて、7月までに報告書が届いていない分については記載しておりませんのでご了承ください。

会合名	期日	内容	参加人数
宇城・阿蘇・上益城ブロック（合同） 宇城：4施設 阿蘇：4施設 上益城：9施設			
栄養部会	5月20日 (水)	○介護報酬改定後の各施設の状況報告○施設からの取り組み発表 ○「経口維持加算について」の研修会 他	14施設 16名
通所リハビリ部会	6月18日 (木)	○法改正に伴う各事業所における取り組みと利用状況の動向について 他	14施設 17名
天草ブロック 天草：11施設			
世話役会	5月8日 (金)	○前年度の事業報告及び収支報告○今年度のブロック長及び世話役の適任○今年度の事業計画と予算について 他	11施設 16名
事務管理部会	5月8日 (金)	○年間活動報告、年間事業計画 他	11施設 12名
看護・介護部会	6月4日 (木)	○感染についての意見交換会【感染に対する施設での発生前後の対応、感染者の入浴について、面会について】	10施設 33名
支援相談部会	6月16日 (火)	○4月改正の特養の特例入所について○8月改正の負担限度額認定証更新手続きについて（天草市高齢支援課）○事例発表 他	11施設 15名
リハビリ部会	6月3日 (水)	○本年度の計画○介護保険改定に伴う進捗状況○症例報告 他	9施設 11名
通所リハビリ部会	5月15日 (金)	○H27年度介護報酬改定について○各施設の情報交換 他	7施設 7名
玉名・鹿本・菊池ブロック（合同） 玉名：9施設 鹿本：3施設 菊池：7施設			
ブロック代表 担当者会議	4月17日 (金)	○前年度の活動報告○今年の活動計画○活動報告、活動計画についての意見交換 他	14施設 21名
看護・介護部会	5月21日 (木)	○今年度の行事計画、研究発表○研修：レクリエーション音楽療法	14施設 32名
支援相談 ケアマネ部会	7月3日 (金)	○情報交換【介護保険改定について、他施設での取り組み、困っていることなど、その他聞いてみたいことや話し合いたいこと】 ○施設見学	16施設 26名
リハビリ部会	5月21日 (木)	○連絡、報告○介護保険改定後の意見交換会【リハビリテーションマネジメントについて、リハ会議について、リハ業務全般について】	14施設 31名
通所リハビリ部会	5月15日 (金)	○レクリエーション紹介【情報交換、施設見学】	16施設 18名
八代・芦北ブロック（合同） 八代：7施設 芦北：3施設			
看護・介護部会	6月25日 (木)	○加算について【口腔衛生管理加算、経口維持加算、入所前後訪問指導加算（Ⅱ）、退所後訪問指導加算】○実地指導情報○感染症情報	8施設 17名
球磨ブロック 球磨：7施設			
看護・介護 デイケア部会	6月2日 (火)	○キャリアパスの取り組み発表、意見交換○人材育成、離職率問題	6施設 13名
栄養部会	6月5日 (金)	○講和：ゲル化剤を使用した嚥下食について（回生苑（鹿児島県）栄養士 松崎裕美子）○質疑応答	6施設 8名

施設協会会員施設



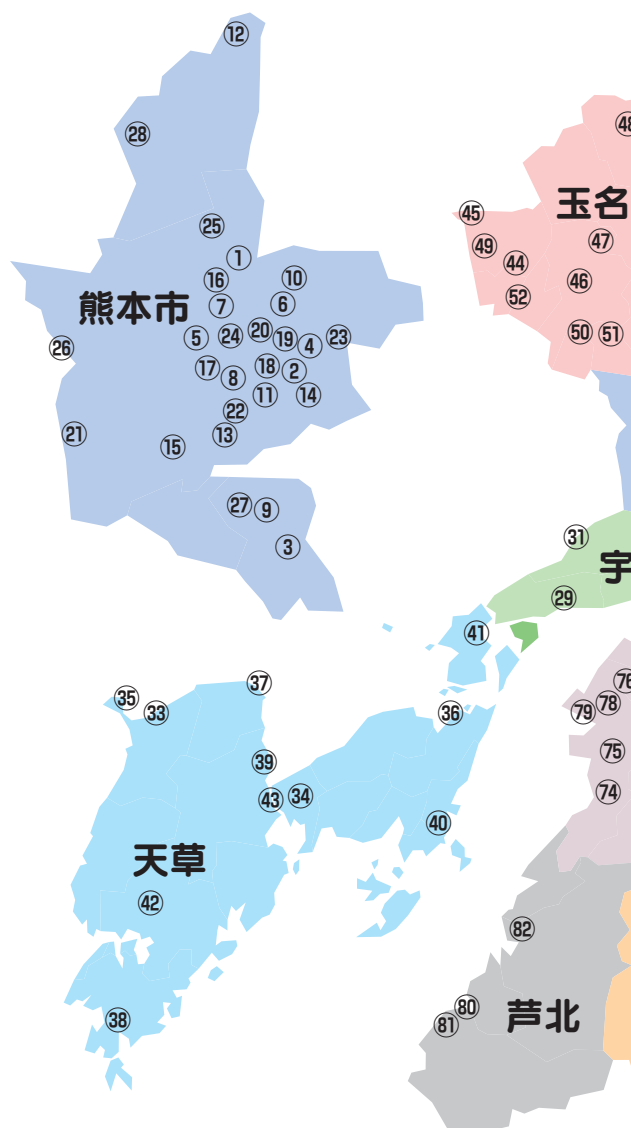
- ④⑥樹心台 玉名市伊倉北方 272 0968-73-4165
- ④⑦ゆうきの里 玉名市上小田 1063 0968-74-0666
- ④⑧清風苑 玉名郡和水町上板楠 1697 - 1 0968-34-3700
- ④⑨平成ドリーム館 荒尾市水野 1556 0968-68-7770
- ⑤⑩星雲荘 玉名市横島町横島 3384 0968-84-3717
- ⑤⑪てんすい倶楽部 玉名市天水町部田見 1214 - 15 0968-71-5600
- ⑤⑫幸 玉名市岱明町鍋 1831 0968-57-5105
- ⑤⑬希望の園 山鹿市山鹿 369 0968-44-2100
- ⑤⑭山鹿リハビリセンター 山鹿市熊入町 313 0968-43-4370
- ⑤⑮太陽 山鹿市鹿本町津袋 654 - 1 0968-46-6111
- ⑤⑯サンライズヒル 菊池郡菊陽町曲手 760 096-232-5656
- ⑤⑰桜の里 合志市須屋 702 096-343-8377
- ⑤⑱おおつかの郷 菊池郡大津町陣内 1165 096-294-1500
- ⑤⑲ひらせ記念リハビリ苑 合志市福原 3111 096-248-7100
- ⑥⑩孔子の里 菊池市泗水町福本 904 - 1 0968-38-5666
- ⑥⑪リハビリセンターきくちの里 菊池市大琳寺 123 0968-23-7721
- ⑥⑫有隣 合志市野々島字東原 4414 - 17 096-242-5050
- ⑥⑬阿蘇グリーンヒル 阿蘇市一の宮町宮地 121 0967-22-0500
- ⑥⑭愛・ライフ内牧 阿蘇市内牧 1105 - 1 0967-32-5511
- ⑥⑮おぐに老人保健施設 阿蘇郡小国町大字宮原 1742 - 1 0967-46-6111
- ⑥⑯リハセンターひばり 阿蘇郡南阿蘇村大字吉田 2044 - 2 0967-64-8000
- ⑥⑰彩雲苑 上益城郡山都町北中島 2701 0967-75-0222
- ⑥⑱ライフライト矢部 上益城郡山都町下市 60 0967-72-1110
- ⑥⑲御船清流園 上益城郡御船町御船 1062 - 1 096-282-1616
- ⑦⑩平成唯仁館 上益城郡益城町宮園字三の迫 1139 - 1 096-286-0666
- ⑦⑪ナーシングケア緑風苑 上益城郡甲佐町白旗 271 096-234-3788
- ⑦⑫ケアポート益城 上益城郡益城町安永 1030 096-289-0777
- ⑦⑬八祥苑 八代市氷川町早尾 1097 0965-62-4818
- ⑦⑭ハピネスケア日南 八代市日奈久塩北町 2922 0965-38-0700
- ⑦⑮向春苑 八代市大福寺町 2411 - 1 0965-33-8660
- ⑦⑯アメニティゆうりん 八代市古閑浜町西塩浜 3401 0965-33-8880
- ⑦⑰かがみ苑 八代市鏡町塩浜 11 - 235 0965-30-4000
- ⑦⑱皇寿園 八代市高島町 4218 0965-33-5545
- ⑦⑲とまと 八代市郡築 1 番町 180 - 1 0965-37-3737
- ⑧⑩やすらぎ苑 水俣市浜 4051 0966-63-8621
- ⑧⑪白梅の里 水俣市浜 4098 - 18 0966-63-3888
- ⑧⑫新清苑 芦北郡芦北町大字芦北字塩屋田尻 2727 - 1 0966-61-3055
- ⑧⑬サンライフみのり 球磨郡相良村大字川辺 1778 0966-35-0840
- ⑧⑭リバーサイド御薬園 人吉市七地町 495 0966-22-6811
- ⑧⑮山江老人保健施設 球磨郡山江村大字山田字南永シ切 1705 0966-24-9800
- ⑧⑯シルバーエイト 球磨郡多良木町大字多良木 4210 0966-42-5288
- ⑧⑰タンポポ 人吉市下漆田町字後平 1538 0966-25-1551
- ⑧⑱愛生 人吉市南泉田町 89 0966-28-3586
- ⑧⑲もみの木 人吉市下林町 232 0966-22-0200

○は平成27年度ブロック代表者施設です。

- ①清雅苑 熊本市北区山室 6 丁目 8 - 1 096-345-8112
 ②コスモピア熊本 熊本市東区尾ノ上 1 丁目 3 - 12 096-384-8088
 ③桔梗苑 熊本市南区城南町沈目 1481 0964-28-6811
 ④おとなの学校本校 熊本市東区三郎 1 丁目 12 - 30 096-385-6262
 ⑤青翔苑 熊本市西区島崎 2 丁目 21 - 10 096-359-5377
 ⑥阿房宮 熊本市北区龍田陳内 1 - 3 - 20 096-337-1111
 ⑦杏の里 熊本市西区池田 1 丁目 14 - 78 096-351-2788
 ⑧南楓苑 熊本市中央区南熊本 2 丁目 11 - 1 096-371-5111
 ⑨光乃里 熊本市南区城南町今吉野 972 0964-28-8000
 ⑩ぎんなんの里 熊本市北区楡木 1 丁目 3 - 70 096-337-2700
 ⑪湧心苑 熊本市中央区出水 4 丁目 15 - 30 096-371-4165
 ⑫ケアビレッジ箱根崎 熊本市北区植木町正清 888 096-274-7700
 ⑬ぼたん園 熊本市南区御幸笹田 6 丁目 8 - 1 096-370-1222
 ⑭第二コスモピア熊本 熊本市東区尾ノ上 1 丁目 8 - 8 096-360-3111
 ⑮白藤苑 熊本市南区白藤 5 - 1 - 1 096-358-7200
 ⑯みつぐ苑 熊本市北区貢町 135 096-323-6123
 ⑰のぞみ 熊本市中央区本荘 3 丁目 7 - 18 096-371-3399
 ⑱シルバーピア水前寺 熊本市中央区水前寺 5 丁目 2 - 22 096-384-3399
 ⑲メディエイト鶴翔苑 熊本市東区保田窪本町 10 - 112 096-387-8181
 ⑳フォレスト熊本 熊本市中央区渡鹿 5 丁目 1 - 37 096-363-0101
 ㉑なすび園 熊本市西区沖新町 3353 096-329-5666
 ㉒田迎ケアセンター 熊本市南区出仲間 5 丁目 2 - 2 096-378-2223
 ㉓ケアセンター赤とんぼ 熊本市東区戸島西 2 丁目 3 番 10 号 096-331-3737
 ㉔なでしこ 熊本市中央区北千反畑町 2 - 5 096-343-7450
 ㉕かなこぎ苑 熊本市北区硯川町 768-1 096-275-2788
 ㉖葵の森 熊本市西区松尾町近津 1480 番地 096-311-4004
 ㉗ゆずりは 熊本市南区城南町高 1099 0964-28-6311
 ㉘ひらた苑 熊本市北区植木町平原 212 096-272-5486
 ㉙青海苑 宇城市三角町郡浦 739 - 8 0964-54-1311
 ㉚あさひコート 宇土市旭町 106 番地 0964-23-5211
 ㉛景雅苑 宇土市上網田町 3676 0964-27-17086
 ㉜なごみの里 下益城郡美里町堅志田 192 - 1 0964-47-6011
 ㉝慈恵苑 天草郡苓北町上津深江 278 - 10 0969-37-1567
 ㉞本渡ケア・ホーム 天草市下浦町 2090 - 1 0969-24-3331
 ㉟臥龍園 天草郡苓北町志岐 123 - 2 0969-35-1119
 ㊱松朗園 上天草市松島町今泉 32 - 1 0969-56-3111
 ㊲ブルーマリン天草 天草市五和町御領 9133 0969-32-2112
 ㊳ケアセンター鶴丸 天草市久玉町 62 - 1 0969-72-6072
 ㊴天草中央総合病院附属 天草市東町 101 0969-22-2111
 ㊵きららの里 上天草市龍ヶ岳町高戸 1419 - 19 0969-62-1123
 ㊶ほんごう苑 上天草市大矢野町登立 8607 0964-56-5110
 ㊷ケーナ・ガーデン 天草市河浦町河浦 4778 - 3 0969-76-1808
 ㊸夢織りの里天草 天草市楠浦町字掛場 59 番 5 0969-22-8288
 ㊹聖ルカ苑 玉名郡長洲町宮野 2772 - 10 0968-78-5521
 ㊺慈眼苑 荒尾市増永 708 - 2 0968-64-1018



熊本県老人保健施設



施設紹介

施設名	湧心苑		
住 所	熊本市中央区出水4丁目15番30号		
TEL	096-371-4165	FAX	096-364-1763
入所定員	75名	通所定員	49名

当施設は平成7年に熊本市中央区出水に開設されました。古くからの住宅地や団地、また最近開発された住宅地も近隣にあり多くの地域のかたがたにご利用いただいています。

「お年寄りの心を自分の心として」私たちは常に尊敬と優しさで誠意を持って介護を行い、お年寄りの自立に寄与します。

湧心苑はこの理念に基づき、常にご利用者の立場で物事を考え、真心のこもった思いやりのサービスと、お一人おひとりの、「その人らしさ」を尊重したケアに努めています。

ご利用者の事情に合わせた長期入所（ロングステイ）、短期入所（ショートステイ）、デイケア（通所リハビリテーション）、在宅サービス（訪問介護、通所介護）、居宅介護支援、地域包括支援の6つのケア体制と楽しいレクリエーション、人々とのふれあいを通してご利用者様とご家族の日常がよりいきいきと輝くためのサポートをいたします。

政府は2025年時点での望ましい病院ベッド（病床）数に関する報告書を発表し、熊本県においては現在より3割減を求められています。このような状況の中で私ども介護老人保健施設湧心苑はこれまで以上に大きな期待を寄せられているところです。



施設名	ケアビレッジ箱根崎		住 所	熊本市北区植木町正清888		
TEL	096-274-7700	FAX	096-274-7300	入所定員	98名	通所定員 80名

ケアビレッジ箱根崎は、雄大な自然に恵まれた菊池平野に位置します。

広がる緑と、湧き立つ温泉。心も体も癒されるすばらしい大地が、私たちのホームグラウンドです。

豊かな自然と背中合わせの環境ながら、都市からのアクセスも良好です。

国道3号線に隣接する立地である上に、高速・植木インターからは車で約5分ほど。

医療・福祉・住まいのトライアングルを組み、地域高齢者の生活をより安心・安全なものにできるように、総合的な支援を目指しています。介護老人保健施設を母体とし、通所介護、小規模多機能施設、住宅型有料老人ホーム等の事業運営を行っています。



施設名	御船清流園			住 所	上益城郡御船町御船1062-1		
TEL	096-282-1616	FAX	096-282-1692	入所定員	54名	通所定員	45名

御船清流園は、熊本市の東南16kmに位置する御船町に、平成6年開設しました。

自然環境に恵まれ、緑豊かな山々や田畑と御船川の流れを近くにし、入所定員54名、通所リハビリテーション定員45名で運営しています。

当施設は、理学療法士3名、作業療法士1名を配置し、ご利用者一人一人に合ったりハビリの提供を行いながら、各職種と協力のもと自立支援に力を入れています。

また、外出行事の企画や音楽療法を取り入れたリハビリ、地域の方々と交流が出来るよう傾聴ボランティアの受け入れ等を行っています。

各事業所、医療、福祉機関などと連携し、地域と一体になったケアに取り組み、ご利用者が「その人らしく」安心して生活が送れるよう地域の老健の役割を担っています。



施設名	リバーサイド御薬園			住 所	人吉市七地町495		
TEL	0966-22-6811	FAX	0966-22-6899	入所定員	80名	通所定員	65名

当施設は平成4年、県南部の人吉市で初めての介護老人保健施設として開設しました。

すぐそばを日本三大急流の1つである、清流球磨川が流れ、自然に囲まれた風光明媚な場所に当施設はあります。

開設当初より、在宅復帰、在宅生活支援に運営の中心をおき、生活リハの充実に努めています。在宅復帰率は50%を超え、強化型老人保健施設として地域住民のニーズに応えるべく活動しています。同一法人に訪問診療を行う在宅支援診療所を持ち、訪問看護や訪問介護、訪問リハ、24時間定期巡回型訪問介護・看護などの訪問系サービス、通所リハ、認知症対応型通所介護などの通所系サービスを併せて提供し、単なる在宅復帰にとどまらず在宅復帰後の生活支援にも力を注ぎ、利用者の生きがいある生活を目指して運営しています。



施設名	山鹿リハビリセンター			住 所	山鹿市熊入町313		
TEL	0968-43-4370	FAX	0968-43-4377	入所定員	80名	通所定員	80名

湯の町山鹿にある「介護老人保健施設山鹿リハビリセンター」は入所利用の他、ショートステイ、通所デイケア、小規模多機能型居宅介護、居宅介護支援事業所を敷地内に併設し充実の介護を目指しています。

特にリハビリテーション室では理学療法士5名、作業療法士2名の専門職により利用者様の在宅での生活を目指し、お一人お一人の状態に合わせて、身体・認知機能の維持・改善に個別でのリハビリテーションを行い、ご本人様のやりたいことを実現する為に個人に必要な計画をたててご提供しています。

ご利用開始後も生活相談や提供したサービスの苦情相談、これからの生活環境の調査や調整、他の介護サービスや施設のご案内など、安心して当施設を利用していただけるよう万全を期しております。

山鹿灯籠の明かりは幽玄でやさしく、山鹿を訪れる人々を心からもてなしてくれます。山鹿リハビリセンターもそうした施設だと思っております。



施設名	ケアセンター鶴丸			住 所	天草市久玉町62-1		
TEL	0969-72-6072	FAX	0969-72-3868	入所定員	50名	通所定員	40名

ケアセンター鶴丸は平成5年7月に天草下島の最南端、天草市久玉町に開設しました。

水仙公園で有名な遠見山の中腹に位置し、眼前には久玉湾を一望することができます。4階建ての建物の3階に浴室と食堂を配置し、2階と4階にあるほとんどの療養室からも開放的な景色を眺めることができます。このように当施設は、緑豊かで静かな環境にありながら、近くには大型スーパーがあり、市街地も近く「機能的、精神的ケア」に最適な施設です。



また、充実した療養のため、ご利用者様の要望に沿って買い物へ出たり、ドライブをしたり、様々な季節行事を行います。特に夏の納涼祭では地元の保存会や、高校生による「牛深ハイヤ踊り」が披露され、ご利用者様やご家族の皆様にご好評いただいております。

同一施設内では訪問リハビリテーション、居宅支援事業所を運営しており、ショートステイもご利用いただけます。併設診療所の「小松医院」とも連携し、ご利用者様の在宅復帰支援にも積極的に取り組み、「やさしさ…、そして、思いやり…」の施設理念のもと、職員一丸となって安心と親しみを感じていただけるサービスの提供に努めております。

平成二十七年 度

熊本県老人保健施設協会「中堅・主任者職員研修会」開催



去る平成27年8月7日・8日の両日、中堅・主任者職員の更なる知識の向上を目的とした研修会が、68名の参加でホテルニューオータニ熊本で開催されました。二日間で4名の先生方々から貴重な講義をいただき、二日目の最後には医療や介護職の専門プロコーチの芦村先生から、部下指導のコーチングを体感を交え学びました。

研修会の冒頭に当たり山田会長より挨拶があり、引き続き今回の報酬改定は、現場に何を求めているのか?と題して講義がありました。講義前半では報酬改定についての話があり、後半では報酬改定に期待したいことに複眼をおき、老健施設の役割や置かれた立場について話がありました。今後の老健施設の姿について、24時間対応のとりあえず何でも相談できる『在宅総合ケア支援センター』として機能していく事が望ましくなり、その中の不足する人材不足にどう対応していくのか、再度考え直す時期ではないかと、最後に締めくくられました。

続いて、介護老人保健施設青翔苑副施設長の永廣研二様より老健の運営基準について、①介護保険給付費の負担割合 ②法の構成要素(遵守事項) ③27年度の法改正 ④老人保健施設とは ⑤人員、施設及び設備運営に関する基準5項目について具体的な事例も交えて紹介されました。老健施設の指定である為には、基準省令の運営に関する基準にそった施設内のマニュアルの適合性の徹底が必要であり、実地指導については前年度の変更点もあるので運営規程を含めて再確認が重要と話され

ました。また、ささいな解釈の違いでも指導の対象にもなるので、最低限のことはきちんと遵守するようにと強調されました。

二日目は、全国老人保健施設協会副会長、福島県老人保健施設協会会長の医療法人生愛会理事長の本間達也様からの講義でスタートしました。施設の紹介をまじえ日常業務でのクレームや事故に對してお話しがありました。

「情報の共有性と事故が発生したらスピーディーな報告と対応、そして分析が重要である。ご家族への説明不足や連絡の遅れがないよう対処し、何でも小さい内に対処しておく必要があり、苦情や要望についても、迅速傾聴に組織全体で対応にあたり苦情は改善の契機と考え対処しましょう」と話されました。

続いて、介護老人保健施設シルバーピア水前寺看護主任の松本智子様より看取りケアについて、施設内での取り組みについてお話し頂きました。

看取りケアは家族医師職員が一緒に看取る事が必要で、ご本人が寂しくならないように手を取り、旅立ちのケアでは『その人らしい衣装にする』などを実施していると紹介されました。また、ご家族や職員にもアンケートを実施し、家族と利用者そして職員の双方の不安や問題に向き合っている具体的な事例を交えての報告がありました。

二日間の研修の最後の締めくくりは、グループワークで活発な意見や情報交換等で研修を修了しました。

講義

老健のリスクマネジメントを通して
見えてくるもの

公益社団法人全国老人保健施設協会

副会長 本間達也

二日目は全国老人保健施設協会副会長、福島県老人保健施設協会会長、医療法人生愛会理事長の本間達也様からの講義でスタートしました。

施設の紹介をまじえ日常業務でのクレームや事故に対してのお話がありました。

「施設内では事務所とステーションの情報共有が必要で、現代はいろんなクレームが多くなっており、それに伴う訴訟も多発している。その中で介護水準にブレがあり問題が大きくなる傾向にある。だからこそ、リスクマネジメントが必要で、その場合のリスク検証をきちんとやっておく必要がある。組織改定時には皆が想定内外の情報も共有しておく。もし事故が発生したらスピーディーな報告と対応、そして分析が重要である。ご家族にも説明不足や連絡の遅れがないよう対応する。何でも小さい内に対処しておく。」

また、施設内の職員間の連携不足や報告遅延等は事故誘発の原因にもなり、その事による利用者や家族の不安も生じるので、職員間の「コミュニケーションをよくする事が大事である。苦情や要望についても、迅速傾聴組織全体で対応にあたる。苦情は改善の契機と考え対応する。」

震災を体験されたからこその見えたものとして、平時の考え方は「足し算」、非常時には「引き算」の考えでの対応が必要と話されました。



「看取りケアの取り組み」

～人生の最期に寄り添って～

介護老人保健施設シルバークピア水前寺

看護主任 松本智子

施設内での看取りケアの取り組みについてお話し頂きました。

「シルバークピア水前寺では、家族との細かいやりとりや個人様の緩和ケアを中心に行っている。家族関係もきちんと作り他職種との連携（看取りケア）でそれぞれの部署でやるべき事に注意している。医師の言葉は家族にとっては大きな信頼になっている。家族医師・職員が一緒に看取る事が必要で、ご本人が寂しくならないように手を取り、旅立ちのケアでは、『その人らしい衣装にする』などを実施している。高齢化が進む中、施設内での看取り希望者は増加傾向にあり、マンネリ化にならないよう、看取りケアを行っている。」

また、ご家族や職員にもアンケートを実施し、家族と利用者そして職員の双方の不安や問題に向き合っている。

職員のアンケートには、最初は不安だったが、人生の最期に関わる事で温かく寄り添う気持ちに変化したとの回答もあった。」

と、具体的な事例を交えての報告がありました。



グループワーク



部下の指導育成に活かすコーチング

コーチングルームオフタイム 芦村 恵 先生

グループワークの感想

- 目をそらしたり、横着な態度で話を聞かれるのは嫌悪感がある。
- 近づかれると威圧感があり話しづらくなる。
- 座る位置を変えるだけで話そうとする気分になり、リラックスできる。



部下指導には、コミュニケーションが必要で、そのためには相手を信じ信頼関係を作り、しっかりと話を聴き、相手を認めその人がその人らしくできるようサポートする。また想いに寄り添い共に歩くことが重要で、人を動かすには説得ではなく、納得して動くように動機付けをきちんと心がけるようにと話をしました。



平成27年7月17日（金）、熊本市男女共同参画センターはあもにい研修室において第1回熊本市ブロック事務管理・支援相談部会協同研修会を66名の参加で開催致しました。今回、熊本市健康こども局 高齢介護福祉課 主幹兼認定給付班主査 坂本正恵様と主査 門岡秀宜様をお呼びして8月からの「介護負担限度額認定証更新申請の周知と更新とりまとめ」と「平成26年度実地指導の総括及び平成27年度実地指導」についてお話し頂き活発な意見交換を致しました。その後、各部会に分かれ介護保険改正後の取組について意見討論会を行いました。

編集後記

今回の台風15号、熊本を直撃しましたが被害の程はいかがでしたでしょうか。

私の勤める施設等では大きな被害はなかったものの、周辺道路の木々は倒れ、一部地域では停電が続くなど大きな被害を受けました。今回の件で、自施設の課題が浮き彫りとなり、リスクマネジメントの重要性を改めて再認識することになりました。今後、広報誌において、災害時だけでなくリスクマネジメント全般について取り上げていければと思っております。このたびの台風により、被害を受けられた皆様に心からお見舞い申し上げます。

山鹿リハビリセンター 岩尾

「ろうけん熊本」では皆様からの記事、掲載したい写真（表紙）などを募集しております。お気軽に事務局までご連絡ください。

また協会ではホームページを開設しております。研修のご案内、情報等の確認にご活用ください。



一般社団法人 熊本県老人保健施設協会

〒868-0041 熊本県人吉市七地町495

介護老人保健施設 リバーサイド御薬園内

TEL 0966-26-3681 FAX 0966-26-3680

E-mail: kmrouken@orange.ocn.ne.jp

印刷：シモダ印刷株式会社

広報委員

松永 昇行（コスモピア熊本）

後藤 健（青海苑）

高森 由紀（希望の園）

立山奈津美（協会事務局）

土肥 英樹（サンライフみのり）

金子 俊弘（あさひコート）

岩尾 英憲（山鹿リハビリセンター）